



# 荒川区荒川八丁目

三河島水再生センターの上に広がる、自然豊かな荒川自然公園がある八丁目。近くには新しくなった区立図書館「ゆいの森あらかわ」もあり、新緑散歩にぴったりのこのエリア。美味しい珈琲や焼き菓子をおともにのんびり歩いてみませんか♪



今月のエリアウォーク  
**10,050 歩**  
広い園内は緑豊かで新緑散歩が心地いい



**昆虫観察園**  
荒川自然公園生まれのカブトムシにも会える!? 夏の風物詩となった観察園。今年の開園は6月15日(土)から8月4日(日)(休園日を除く・雨天中止)の10:00~16:00(12:00~13:00を除く)



**オオムラサキ観察園**  
国蝶・オオムラサキを身近に見ることができる観察園。毎年夏前に羽化するので、その時期に合わせて観察会が実施される。6月1日(土)から7月14日(日)までの土・日(雨天中止)で開園時間は10:00~16:00(12:00~13:00を除く)



**交通園**  
自転車やゴーカート、三輪車や一輪車などを無料で貸出してくれる(1回の乗車時間は30分)子どもたちに人気のスポット。自転車の練習もできる



**わいわいプール**  
7~9月に開放される、小学生以下が利用できる水遊びプール。未就学児は水着着用の上大人付き添いが必要(オムツ使用中の幼児は水遊び用オムツが必要)



**アスレチックコーナー**  
3月にリニューアルして新しい遊具で遊べるように! 新入り遊具の「忍者コンビ」と「忍者ウォール」にご注目



## 注目の人 荒川自然公園 園長 鮫島一彦さん

自然を楽しむきっかけ作りに、季節ごとに様々なイベントを開催中

荒川自然公園は三河島水再生センターの上に人口地盤を造って設置された公園で、1982年には「新東京百景」に選定され、東京を代表する景勝地の一つとなっています。都内で、これだけ駅から近くて広い、自転車の練習ができる場所もある公園は希少です。また、荒川自然公園では、季節ごとに、春から12月ぐらゐまではほぼ毎月様々なイベントを開催しています。7月には「ホテル観賞の夕べ」があり、カブトムシが見られる昆虫園や国蝶・オオムラサキの観察園もはじまります。8月には「わいわいプール祭り」が、秋には「秋

の七草と鳴虫の会」や、花苗を植えたりスタンプラリーをしたりするイベントがあります。12月には園内の木の実を使ってリースやミニツリーを作るイベントも。ほかにも、自然を楽しむきっかけ作りだけでなく、ここで見たものを「ゆいの森あらかわ」で調べたり、本を読んで気になったものをこちらに見に来てもらったり、より深く知ってもらえるような仕掛けを考え中です。イベントに絡めて樹木医による「緑の相談コーナー」を開催したり、園内で採れた草を使った染物もできたらいいですね。ぜひ遊びに来てください!



↑ホテル観賞会、白鳥の池の一角にドームを作って開催される。区民限定で2日間、各1,000名しか見られない貴重な体験(抽選制)



**荒川自然公園**  
〒 荒川区荒川8-25-3  
☎ 03-3803-4042(公園管理事務所)  
🕒 4~10月6:00~21:00(北側・中央地区) / 6:00~19:00(南側地区) ※季節により異なる  
📍 第1・3木(祝の場合翌日)  
🌐 <http://arakawazizen-koen.com>



↑ミニリース

### 1 焼菓子工房 アトリエ・エヌ

住宅街にひっそり佇む小さな焼き菓子専門店

「ひと口目でそれが何のお菓子かわかるような味にしています」という大貫さんの作るお菓子は甘さ控えめで素材感あふれる優しい味わい。商品数も多く、ギフトでも人気だそう。写真や文字を入れてもらえるプリントクッキーやデコレーションケーキ(2,700円〜)もある(要相談)。



▲ 焼き菓子はメレンゲ100円〜。パウンドケーキ各種180円。プリントクッキー(200円)は10枚から注文可能  
→「季節商品を増やしていきたい」という店主の大貫智裕さん

### 2 はしもと珈琲

生豆から注文ごとに焙煎する自家焙煎のコーヒースタンド

約12種類の木樽で並んだ生豆を、注文ごとに焙煎&販売してくれる自家焙煎のコーヒースタンド。焼き方は浅煎りからイタリアンローストまで5段階から選べ、約10分で自分好みの珈琲豆がお持ち帰りできる。ホットとアイスでのイクアウトもできるので、お散歩のお供にいかが?



▲ アイスコffee300円には「はしもとブレンド」のイタリアンローストを使用  
→「コーヒーを飲みながら焙煎を待つ人も多いです」と店主の橋本啓子さん

### Spot 荒川自然公園の下に広がる「三河島水再生センター」国の重要文化財「旧三河島汚水処分場唧筒場施設」も

三河島水再生センターは、1922(大正11)年に運転を開始した、日本で最初の近代的な下水処理施設。第一沈でん池や反応槽の上部空間は荒川自然公園として活用されている。緑豊かな敷地には、現在使われている「高度処理施設」と、2007(平成19)年に国の重要文化財(建造物)に指定された赤レンガ造りの「旧三河島汚水処分場唧筒(ポンプ)場施設」の新旧施設があり、どちらも予約制で施設見学ができる。敷地内には桜やつつじの木が植えられ、季節ごとの景色も楽しめる。春の「つつじ観賞会」や12月の「キャンドルナイト in 三河島」など、予約不要の一般公開イベントも開催しているので、ぜひどうぞ。



↑荒川七丁目にある歩道橋から第二沈でん池を見渡すことができる



**三河島水再生センター**  
〒 荒川区荒川8-25-1  
☎ 03-6458-3940(唧筒場見学予約) 03-3241-0944(センター見学予約)  
🕒 9:00~17:00(見学受付時間)  
📅 土・日・祝(唧筒場は火・金)

### 1 焼菓子工房 アトリエ・エヌ

〒 荒川区荒川8-3-7  
☎ 03-6806-7069  
🕒 9:00~19:00ごろ  
📅 休 木・不定休

### 2 はしもと珈琲

〒 荒川区荒川11-7-4  
☎ 03-6806-8202  
🕒 10:00~18:00  
📅 休 日・月

※データは取材時のものです。都合により内容が変更となる場合がございます。